

# 倉二だより

学校だより  
令和2年10月1日  
舞鶴市立倉梯第二小学校

## コロナ禍の泊を伴わない修学旅行と野外活動。でも思い出はいっぱい！

「本当に行ける？」「コロナは大丈夫？」「台風は？」「地震も心配。」たくさんの心配を乗り越えて、「子どもたちの安全と無事を第一に！」と祈りながら実施した修学旅行と野外活動。どちらも泊を伴わない日帰りとなりましたが、子どもたちは、「みんなでいい思い出を作ろう！」と、前向きに準備をし参加しました。おうちの方・関係者の皆様のご理解とご協力のもと無事に終えることができ、素敵な思い出がいっぱいになりました。本当にありがとうございました。

修学旅行出発前日の集会では、1～5年生が「いつもたくさんお世話をしてくれてありがとう。明日は元気に出発してください。行ってらっしゃい。」と6年生にメッセージを伝えると、6年生が「ありがとう。行ってきます。」と元気に応えました。又、1年生から「ぶじかえる」の手作りお守りと大きなたてる坊主をプレゼントしてもらい、本当に嬉しそうでした。5年生は2年生から「たてる坊主」のお守りと同じく大きなたてる坊主をプレゼントしてもらい、窓から「行ってらっしゃい。」とたくさんのお見送りを受け出発しました。このような温かいつながりを倉梯第二小学校の伝統にしていきたいです。

子どもたちにとって学校は安全で安心な場所でないといけません。コロナへの対策として消毒は継続して行っていますが、教職員で、児童トイレや手洗い場、窓ガラス等の掃除を実施しました。長年の汚れで一気には無理な箇所もありましたが、かなり清潔になりました。又、心の安心という点では、いじめ問題の早期発見・解決を大切にしています。(別紙7月のアンケート結果を掲載しておりますのでご覧ください。) 一人一人の子どもと担任が面談をし、納得いくまで話し合いや面談をしました。校長・教頭・教務主任・生徒指導主任も全校児童のアンケートに目を通し、面談結果や状況を全担任から詳しく聞きました。今後も一人一人をしっかり見守っていきます。

9月24日の本年度初めての学習参観に多数ご参観いただきありがとうございました。10月には運動会も予定しております。例年より内容・時間等を縮小しての開催となりますが、応援やお弁当の準備等お世話になります。今月もどうかよろしくお願ひいたします。

校長 榎本 ゆかり 教職員 一同

校長ひとり言

### 謝ることは勇気のいること、辛いこと。でも、心はスッキリ！

9月上旬の午後3時頃、一人の男の子と担任の先生が職員室にやってきました。男の子の首はがっくり垂れ顔色も冴えなくて悲しそうな様子です。担任の先生から、「校長先生に報告があるので聞いてください。」と言われ、「分かりました。どうしました？何があったの？」と尋ねても下を向いたままです。「学年と名前は言えるかな？」と聞いても言えません。見かねて担任が、「〇年〇組の〇〇です。」と手本を示すと、その通り小さな声で言いました。再度、「どうしたの？」と聞くと「食器が4枚割れました。」と今度は自分で言いました。「なぜ割れてしまったのかな？」と尋ねると、「食器が割れてしまったのです。」との返答。この会話が何度か繰り返された時、担任の先生がしびれを切らして、「給食当番で運んでいる時に…」と話を始められたので止めました。「先生、ここは待つことが大事。〇〇くんはきっと自分で言いますよ。」しばらく沈黙の後、男の子は、自分で話し始めました。じっくり聞くうちに状況も分かってきました。給食当番で大きなお皿が10枚ぐらいいったかごを持っている時に1階の廊下の銀のようなものにつまずいてこけたら、お皿が全部床に落ちて、そのうち4枚だけ割れたのだそうです。「けがはなかった？」「うん。大丈夫。」「誰が片づけをしたの？」「先生たち。」「自分では片づけなかったの？」「うん。危ないから教室に行っときなると先生が言ったから。」「そうか。分かったよ。」「お礼は言った？」「うん。」等々会話が続きしました。この時の男の子は、私と目と目をつないでしっかりした声で自信をもって話すようになっていました。

辛くても自分の口で説明したり、正直に謝ったりすることの大切さ、それができたときのスッキリした気持ち、相手に気持ちが通じる謝罪の方法等を、このように小さい頃から様々な人との関りの中で一つ一つ学んで大人になることが大切です。職員室を出る際に、「ありがとうございました。」と大きな声で言えたので、「凄いや。自分でちゃんと言って。叱られて辛かったけど、いっぱい成長したね。」と褒めると、男の子の目にはうっすら涙が・・・でも顔は晴れ晴れしたいい顔でした。ほんの数分の関わりでしたが、この子の成長が実感でき、私も泣きそうでした。もちろん嬉し泣きです。素敵な大人になってくれそうだと心が温かくなりました。「失礼しました。」と来た時とは別人のように帰っていった男の子。道徳での学びと実体験が結びつき、一人の人としての成長を本人も周りの大人も感じた瞬間でした。

## 6年生修学旅行 9/11(金)



今年はずっととは違う修学旅行。たくさんの制約の中、少しでも多くの学びや貴重な体験をさせたいと願い、準備を進めてきました。実行委員を中心に6年生みんなで楽しい実りのある修学旅行にしようと前向きに事前学習に取り組みました。

当日は6年生全員がそろって出発し、元気に過ごし、数々の思い出を胸に帰ってきました。大安禅寺では心静かに座禅をし、自分の心を見つめ、深く向き合う時間となりました。ほっきょ荘では美味しい昼食に舌鼓を打ち、みんなで楽しいお昼の時間を過ごし、おみやげも買いました。午後には恐竜博物館に行き、恐竜の生態や発掘現場の仕事、迫力ある展示やシアターなどで学びました。朝倉氏遺跡では、戦国時代にタイムスリップしたような空間に身を置き、当時の戦国大名の屋敷などを見学しました。普段教科書では学べないことを仲間とともにたくさん学び、より視野を広げることができました。



校外で多くの時間を共有し、共に学び、体験したことで、友達とのつながりもより深まりました。また、学級、学年の集団としての高まりも見せました。様々な制約の中でも健気に学び、体験した中身の濃い1日は、6年生の子どもたちの心の中に深く刻み込まれたことと思います。朝早くから送り出し、見送っていただいたり、夜暗い中、迎えていただいたりなど、保護者の皆様にご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。この貴重な体験を糧にして、これからの学校生活を過ごしてほしいと願っています。



## 5年生野外活動 9/17(木)



野外活動も例年なら1泊2日ですが、今年度は日帰りでの実施となり「青葉山麓公園グリーンスポーツセンター」で野外活動を行いました。陶芸体験とアスレチックをしました。陶芸体験では、作り方について一通り説明を聞いた後、自分でイメージした形を表現するために、様々な技法で根気強く、丁寧にオリジナルの器の作製をしました。作製後は、陶芸館の方にお世話になり、丁寧に焼き上げていただきます。出来上がりがとても楽しみです。またアスレチックや自然探索などをしたり、キャンプソングを歌った後、事前に準備した出し物の披露などをしたりしました。普段は学校での授業が中心で行事や校外行事などが制約される中での実施となった野外活動、子どもたちは楽しい時間をかみしめるように過ごしていました。中には「楽しい!」と叫んでいる姿も見られました。



2年生が作ってくれたてるてる坊主のおかげか、何とか天気も持ち予定通りの活動を終え、バスに乗り込む直前に雨が落ちてきました。いつもとは違う野外活動になりましたが、集団で活動することの楽しさ、集団の中の一員として考えて行動することの大切さを学ぶ貴重な時間となりました。



## 遊歩時避難訓練 9/1(火)

防災の日に合わせて、防災訓練を実施しました。

遊歩時に大きな地震が起こり、その後火災が発生したという想定で行いました。まず自分の身を守り、次に放送の指示を聞いて火災現場を避けて避難することなどの訓練をしました。



遊歩時でしたが、一人一人の児童が自分で考えて行動し、静かに速やかに避難することができました。地震が起こった時にどの場にいるか分かりません。その時に、その場に応じた身の守り方ができるように今後も指導していきます。



<各ご家庭でも、集合場所などの確認をしておいてください。>

## PTA環境美化作業は中止しましたが・・・。

### アルミ缶、段ボール、新聞等多くの持ち込みありがとうございました 8/29(土)

8月29日に予定していました環境美化作業は中止になりましたが、保管していただいていたアルミ缶や段ボール等を朝から多くの方が学校まで運んでくださいました。地域の皆様、保護者の皆様のご厚意に心より感謝いたします。収益については今後、児童の教育活動に活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

### 教職員で環境美化作業をしました 9/9(水)、14(月)

PTAの環境美化作業が中止になりましたので、掃除ができていないところを少しでもきれいにし、環境を整備しようと教職員で美化作業を行いました。子どもたちが普段できない窓ふき、手洗い場の磨き掃除、トイレの掃除などをしました。できていないところもまだ多く残っていますので、今後保護者の皆様にはまた何かの機会にお願いをさせていただくことがあるかもしれませんが、ご協力をいただきますようお願いいたします。教職員でも少しずつできるところはしていこうと考えています。



## 運動会に向けてがんばっています！

例年とは違い今年度は、演技を学年ごとに行います。授業時間確保のため十分な練習の時間を取ることができない状況の中、子どもたちは運動会に向け集中して、一生懸命練習に取り組んでいます。また色ごとの結団式も集まることが難しい中、各色の応援リーダーを中心に、小道具リーダーやパネルリーダーが休み時間や放課後に工夫を凝らして動画を作成しました。各教室でその動画を見ることで、各色の結束を高めました。いつも通りできないこと、数々の制約の中でも子どもたちはよい運動会にしようと精一杯がんばっています。



## ふれあいマラソン



日常的に体力を高め、また運動会やマラソン大会に向けて体力や持久力の向上を図るため、ふれあいタイム（業間休み）に10分間走を行っています。密にならないよう2学年ずつで走っています。子どもたちは自分の目標を持ち、一周でも多く走ろうと意欲を持って、がんばっています。ひたむきに走る子どもたちの表情は真剣そのものです。自分の目標に向かって、一生懸命がんばる時間になっています。



## 非行防止教室(4～6年生) 9/2(水) ～心にブレーキを！～

舞鶴警察署スクールサポーターの中江様に非行防止教室をお世話になりました。自分たちの生活の中で、どのようなことが犯罪になるのかを具体的に教えていただきました。落ちていた物を自分のものにする、万引きやいじめはもちろん犯罪であり、計画の話に加わっただけでも同じ罪になること等を教えていただきました。「ゴミを捨てるときにも法律がかかわる。」「大人であっても子どもであっても、ふざけてやったことでも法律に触れることは処罰される。」「やってよいことと悪いことをしっかりと判断できる力を付けてほしい。」など様々な事例を交え話していただきました。SNS等の危険性については、インターネットで、相談することには大きな落とし穴が待っていること、ネットの相手を信用しすぎない、優しい言葉であなたをねらっているかもしれない、決して自分や友達の個人情報・悪口等を流してはいけないこと、正しく判断して行動しないと犯罪に巻き込まれたり、自分が犯罪を犯す側になったりすることもあること等を教えていただきました。

